

特別対談

東京都千代田区「JPタワー」22階
奥村組
「クロスイノベーションセンター」

奥村 太加典

株式会社 奥村組 代表取締役社長

株式会社 奥村組 代表取締役社長
奥村 太加典 (おくむら たかのり)
1962年生まれ。奈良県香芝市出身。中央大学理工学部土木工学科を卒業。1986年に株式会社奥村組に入社し、2001年12月に39歳で代表取締役社長就任、現在に至る。2015年から2018年まで大阪建設業協会会長、2020年より全国建設業協会会長。

吉田 正尚

メジャーリーガー

メジャーリーガー
吉田 正尚 (よした まさたか)
1993年生まれ。福井県出身。敦賀気比高校から青山学院大学を経て、2015年にオリックス入団。2020・21年首位打者。2019年WBSC、2021年の国際大会、2023年のWBCで金メダルを獲得。2022年、米MLB ポストン・レッドソックス入団。140試合の出場で、打率.289の成績を残した。

SPECIAL TALK

総合建設会社 奥村組の奥村太加典社長と、同社のCMに出演したメジャーリーガー 吉田正尚選手との特別対談。
奥村組の信条である「堅実」「誠実」。吉田選手の「ひたむきさ」。互いに共鳴し合いながら、それぞれの取り組み、挑戦を語る。

努力するから信頼される
大事な場面を任せてもらえる

奥村 今日CM出演時と同じ奥村組の作業服で登場していただきました。
吉田 野球もそうですけど、こうしたユニフォームに袖を通すと、やはり気合が入るといって、スイッチが切り替わります。

奥村 ちょっとつらやましいと思うほど似合っていますよ。奥村組は「堅実経営」「誠実施工」を信条としています。というのも、私も建設する建物、構造物は、数10年、或いは100年以上の長きにわたって使い続けられるものです。当然、しっかりとした品質のものをお納めするべく、誠実に施工に向き合わなければならぬ。これらのメンテナンス等をし続けていくた

堅実に、誠実に。 挑戦を続け、一歩でも前へ。

吉田 もちろん不安もありました。しかし、迷ったときには後悔しない決断をすることを心がけてきました。小さい頃からの夢だったメジャー挑戦。このチャンスを選んだら、もう次はないと考え、最後は自分の「行きたい」という気持ちを大切に決めてました。
奥村 侍ジャパンのメンバーとして活躍され、WBCで見事、世界一。メジャーでも立派な成績を残され、手応えを感じたのではないですか？

奥村 私たちも土木、建築事業に加え、新規事業にチャレンジしています。夏秋いちごの栽培、販売や水質浄化



CM出演は初めてと聞きましたが、いかがでしたか？

吉田 今まで経験のないことなので、いつもとは違う緊張感がありました。奥村 すごく自然体で演じてくれたという感じでした。「堅実」「誠実」をしっかりと体現してもらえたので、非常にうれしく思っています。

チャンスを選ばない
挑戦しないと前に進めない

奥村 日本では絶対的に信頼される存在になり、そして昨年、メジャーに挑戦されました。決断するまでに迷いはなかったですか。



奥村 建設業においては、人材不足が問題となっています。IT技術の活用などにより省力化や生産性の向上に取り組みるとともに、優秀な人材を確保していかなければなりません。吉田 選手という「新戦力」も加わりましたので、奥村組という会社、建設業という仕事の魅力を、どんどん打ち出して行きたいと考えています。そして吉田 選手の野球に対する向き合い方、打ち込み方と同じように、建設という仕事に、ひたむきに取り組んでまいります。

“新戦力”吉田選手とともに
奥村組、建設業の魅力を発信

吉田 まず、1年間ケガなくやり切ることを毎年目標としています。去年は好不調の波が大きかったので、今年は安定性を追求したいと思っています。心技体のすべてがうまく噛み合っていないと1年を通じていい成績は残せないです。去年の経験を踏まえていい準備をしたいです。チームとしても個人としても去年の数字を超えていかなければならないので、ひたむきに野球に打ち込みたいと思います。